

2019年度 大垣市立星和中学校 学校経営計

<市の方針と重点>

- 安心感の中で「分かる」「できる」「のびる」喜びを実感できる指導を通して生きる力の育成
- 学校の教育目標を具現するため、生徒や地域の実態を踏まえたより自立的・主体的な学校経営の推進

<学校の教育目標>

厳しく 豊かに いきいきと実践する生徒の育成

- 厳しく：誰もが自らの願いに向かって挑戦し、やりぬいている学校
- 豊かに：誰もが大切にされていると実感できる学校
- いきいきと：誰もがより質の高いものを求め、仲間と心と力を合わせ、創り上げている学校

<学校課題>

- 願いに向け粘り強く挑み、自己実現する力の育成
- 確かな学力の育成と規範意識の醸成
- 地域や家庭の学校教育への協体制の確立と教育力の醸成
- 全職員が組織的に課題に立ち向かう姿勢の醸成

<学校経営の方針と重点> 生徒一人一人のよさを認め、伸ばし、生かす継続的な教育の推進

- (1) 生徒一人一人が福祉教育を核に、自他のよさに目を向け仲間と協働できる豊かな心を育成する。
- (2) 生徒一人一人が生徒会活動を核に、自治力と所属感を高め、望ましい人間関係を育成する。
- (3) 生徒一人一人が「分かった・できた・伸びた喜び」を実感できる確かな学力を育成する。

| | 中期目標 | 2019年度具体的な取組と方策 | 評価 |
|--------------|---------------------------------------|---|--|
| 学習指導 道徳指導 | 規律ある学習姿勢を身に付けた生徒の育成 | ・基本的学習姿勢(先見活動、3分前学習、授業評価、聴く・話す姿)の取組の充実 | <生徒意識調査> ①授業に主体的に取り組んでいる。 ・「当てはまる」と回答する生徒60%を目指す ②授業がよく分かる ・「当てはまる」と回答する生徒50%を目指す |
| | 質の高い授業を目指し、主体的に学び合う学習集団の育成 | ・「はっきりさせたい・聴きたい」という思いがもてる交流(学び合い、教え合う小集団)の工夫 | |
| | 自主的な家庭学習が習慣化している生徒の育成 | ・基礎学力向上につながる家庭学習の充実 | |
| 生活指導 教育相談 | 他を思いやる心を持ち、命を大切に生活する態度の育成 | ・学校行事や学級活動との関連を図った道徳教育の充実 | <生徒意識調査> ①学校が楽しい。 ・「当てはまる」と回答する生徒80%を目指す |
| | 基本的な生活習慣や規範意識、マナーを身に付けた生徒の育成 | ・生徒会を中心とした基本的な生活習慣(挨拶、時間、服装、交通マナー等)の取組の充実 | |
| | ひたむきに取り組む、最後まであきらめずにやり切る態度の育成 | ・ひたむきな生徒や学級の姿を意図的に生みだし、よさを認め価値付け方向付ける指導の充実 | |
| 特別活動 進路指導 | いじめや偏見、差別を許さず、一人一人が位置付けている集団の育成 | ・生徒意識調査や生活アンケート(年6回)の結果に基づくいじめ・不登校未然防止の取組の改善と充実 | <生徒意識調査> ①みんなで何かをするのは楽しい。 ・「当てはまる」と回答する生徒80%を目指す |
| | 自分で自分の生活を高めることができる態度の育成 | ・生徒の心を解きほぐす効果的な相談活動の充実 | |
| | 一人一人が所属感や存在感をもち、仲間と共に切磋琢磨する学級集団の育成 | ・仲間と共に感動体験ができ、学級の一員として自己有用感や存在感を実感できる学級活動の充実 | |
| 健康安全 部活動 | 望ましい学校生活を目指し、自治力、自浄力を高める活動ができる生徒の育成 | ・福祉宣言が目指す活動を工夫し、温かい人間関係の構築を図る指導の充実 | <保護者アンケート> ①災害等緊急対応の訓練と連絡体制が徹底され、施設備品が適切に管理されている。 ②部活動等で体力づくりに励み、健康管理に気をつけている。 ・「よく言える」「言える」と回答した保護者98%を目指す |
| | 福祉、ボランティア活動を通して、他者との共生を図る生き方ができる生徒の育成 | ・望ましい勤労観や職業観を身に付けるキャリア教育の充実 | |
| | 自己の生き方を考え、主体的な進路選択ができる能力の育成 | ・自ら健康で安全な生活を送る自覚と意識を高める指導の充実(食アレ、疾病治療、SOSの出し方) | |
| 特別支援 | 心と身体の健康に関わる自己管理ができる生徒の育成 | ・意図的な指導による危険予知及び判断力を高める指導の充実(自然災害、火災、不審者、AED、EIP、熱中症、学校事故等) | |
| | 自分の命を自分で守る危機管理意識と行動力の育成 | ・師弟同行の精神で生徒と共に学校環境整備の徹底を図る指導の充実(まごころ清掃、給食) | |
| | 望ましい学校生活環境を目指し、心を込めて学校環境づくりができる生徒の育成 | ・部活動と学校生活の両立を図り、効率的な練習を工夫し、所属感と達成感を高める指導の充実 | |
| | 部活動の仲間と共に目標に向かい諦めず挑戦する態度の育成 | ・ユニバーサルデザインを意識した指導方法の工夫改善 | |

共に生きる街・星和
|| 自助・互助の精神 ||

<目指す教師像> =教科指導力・学級経営力・生徒理解力・豊かな心=
=生徒のあこがれの存在、専門性・人間性・愛情と情熱をもった職員集団=
○「厳しさ」責任と誇りをもち「意識し率先して動く」ことのできる危機管理意識・人権意識の高い教職員
○「温かさ」共通理解・共通行動を重視し、目的に向かい「一枚岩」になり、「組織」で生徒を伸ばす教職員
○「確かさ」生徒理解に徹し、「価値ある生き方」を認め、価値付け、方向付け、求め続ける教職員

<家庭・地域と共に歩む教育活動の推進> =開かれた学校=
○授業・学校行事の積極的な公開日の設定
○学校便りやHP、安心メール等による積極的な情報公開
○学校評価の充実
○各種福祉施設との交流
○地域の行事やボランティア、MSJリーダーズ等への積極的な参加
○「学校支援ボランティア」及び「星和中もりあげ隊」による教育活動への支援

[方針]: 子供と向き合う時間の確保と教育環境整備による学校教育の質的な維持向上
[目標]: 年平均の時間外勤務70時間越えゼロを目指す
[重点的な取組]
○勤務時間の目標設定と自己管理
・勤務時間の目標を設定し時間管理
・毎週水曜日のリフレッシュデーの実施
○部活動ガイドラインに即した運営
・生徒や指導者の心身の疲労や怪我、ストレスを考慮した練習時間・休養日の設定と部活動とクラブの在り方
○学校事務・学校行事・会議等の見直し
・体験活動費等の徴収方法の改善
・学校行事・会議等の取組方法の見直し
・星和中版OJTによる教職員の資質向上